

研修先

(一財) 肝付町農業振興センター

所在地及び連絡先

肝付町前田3241番地1

電話 : 0994-45-4311

＜研修内容＞

施設ピーマン



＜新規就農を志した経緯・背景＞

鹿児島市内で10数年間会社勤務していたが、将来は、農地を維持するためにも故郷で自分が農業をしなければならないとの思いがあり、地域で取組の盛んな施設ピーマンに絞って営農したいと考えた。

支援策の活用例

- ・就農準備資金(2年間)
- ・経営開始後は、経営開始資金と経営発展支援事業を活用予定
- ・青年就農資金による融資
- ・町単事業で農業機械導入支援1/2でトラクターのアタッチメントを導入(フレールモア、プラソイラー)
- ・農業振興センターから家賃と通勤費を支給

これまで苦労した点

- ・研修2年目は、自立経営方式による模擬経営のため、生産から出荷まで任されたことから不安が大きかった。
- ・自己責任でアルバイトを2人雇用したため、赤字にならないかとの不安が大きかった。
- ・農業は、生産資材等の購入を含めて初期のランニングコストが必要なことから、運転資金を確保することが重要。

研修して良かった点

- ・自立経営方式で任されたことから、最終的に黒字経営を確保できたことにより、施設ピーマンで経営が出来るとの自信がついた。
- ・農業指導員による適切な指導・助言を受けられた。
- ・ICT、IPMによる省力化・環境負荷低減栽培技術を習得できた。農業に関する基礎から専門分野まで知識の習得が図られたこと。

就農に向けた今後の目標

【研修期間】(令和4年8月～令和6年7月)

- ・降灰対策事業を活用して、20aの連棟ハウスを設置済。
- ・なるべく早く安定生産と収量を上げる栽培技術を習得したい。

現在【就農後】

- ・20aのハウスを30aへ拡大する予定。
- ・施設については、投資費用も大きいので長期間利用できるよう維持管理に努めたい。(できれば子の世代まで継承したい)

就農を目指す方へのアドバイス

- ・農業に興味・関心があるならば、なるべく早く目指した方が技術の習得も容易なので望ましい。
- ・農業は、家族でコミュニケーションがとれる職業である。